

～病診連携パスを用いた気管支喘息における病診連携と課題

に関する臨床データの研究利用に関するお願い～

当院では、以前より気管支喘息に関して、かかりつけ医と協力し、普段の診療を受診しやすいかかりつけ医で行いつつ、専門的評価および緊急時の対応を当院で行うとする、病診連携を勧めています。専門的な評価を受けつつ受診しやすい状況を両立できる手法として推奨されていますが、よりよい診療を提供できるように見直しが必要です。

そこで、現在気管支喘息病診連携パスを用いて病診連携を行っている方々について、調査を行うこととしました。年齢、性別、病気の状況、治療状況、検査データ、患者周囲の環境についてまとめて報告を考えています。

これらの臨床データは通常の診療で過去に記録されたものを基にしており、患者さんに新たな負担はありません。また、個人を特定できるような状態でデータを使用公表することはありません。本研究の目的と、臨床データ利用に関するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、本研究に関するさらなる説明をご希望の方、また、本研究に於いて臨床データの利用を希望されない方は下記問い合わせ窓口にご連絡下さい。

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院呼吸器内科
部長 駒瀬 裕子

〒241-0811 横浜市旭区矢指町1197-1

TEL: 045-366-1111

FAX: 045-366-1190